

新飯能

発行
日本共産党
飯能市委員会
973-1091

金子とし江
972-6401子
山田とし子
973-4710み
新井たく
978-0175む
滝沢おさむ
972-3875

<議員団の連絡先>
973-2111(市役所416)
Mail jcp-sigi@
pluto.plala.or.jp

開発指導要綱変更で

開発業者の 水道負担金廃止に

飯能市はこれまで、

「開発行為に関する公共・公益施設の整備についての負担区分を定めることにより、無秩序な開発行為を防止し、良好な自然環境を保持しつつ、都市の開発を図る。同時に、開発行為による市財政への多大な影響を緩和していくこと」を目的として、「飯能市開発行為に関する指導要綱」を定めてき

ました。

この指導要綱は、特にバブル期からの乱開発や西武などの大規模開発においても重要な役割を果たしてきました。しかし、度々見直され、規制や負担を開発業者に有利なものにしています。

十九年度から負担なくす

平成十九年四月一日の改正で、「事業者の水道施設の整備等に要する費用の一部を負担する」規定を削除し、水道負担金を廃止しました。

ちなみに十八年度は、マンションなど十二件で、一六五〇万円ほどの収入がありました。



三月議会の議案質疑で「こうした指導要綱をもつのは飯能市のみで、国

から強力な指導があった」と答弁していますが、「財政が厳しい。自主財源の確保」などとして今年四月から住民票などの手数料（収入見込額五八〇万円）が引き上げられるなど、市民には負担増を押しつけながら、国言いなりで、開発事業者の負担は減らすというのは納得がいきません。「開発による市財政への多大な影響を緩和」するという趣旨を生かして対応することが必要ではないでしょうか。

名栗・さわらびの湯 料金値上げに批判の声

名栗にある「さわらびの湯」は、飯能市との合併で、平成十七年一月から名栗村営から飯能市営になりました。

この間、「利用料金が八百円では、公営としては高すぎる」という批判の声が出されています。

合併前の十六年十二月議会でも「さわらびの湯条例案」が審議されていま

すが、日本共産党は、「近隣施設と比較しても高すぎる。今まで村内住民が利用する場合は、四

百円だったわけだから、合併後の市民利用は半額の四百円にすべきだ」と主張し、市民利用を八百円に引き上げることに反対しました。日本共産党を除く、保守・公明は賛成しています。

十七年度は、合併記念ということで四百円、十八年度は四百円の利用券を発行していましたが、それらの措置がなくなっ

たために、今年四月から市内、市外とも八百円に統一されました。



住民割引や優待制度を

ある市民の方から、近隣の公営風呂との比較表と優待内容などを紹介いただきましたので紹介します。来年度から市直営から指定管理者制度に移

所在	名称	料金	優待内容
飯能市	さわらびの湯	800円	優待無し。
飯能市	あじさい館	800円	高齢者半額。スタンプ5個で1回無料
秩父市	大滝温泉	600円	住民割引有。スタンプ5個で1回無料
檜原村	数馬の湯	800円	住民割引有り。
小菅村	小菅の湯	600円	住民割引有り。
丹波山村	のめこい湯	600円	住民割引有り。

行する予定ですが、検討が求められます。

メーデー前夜祭

うたごえ喫茶

4月28日 (土) 午後6時開会

会場：喫茶店「風の音」飯能河原ポート場近く

ギターで歌おう。楽器演奏等飛び入り歓迎。

参加費：800円（飲み物、資料代等）

駐車場が狭いので徒歩等で。

*準備の都合上、参加連絡を。

佐藤弘 973-7303まで。



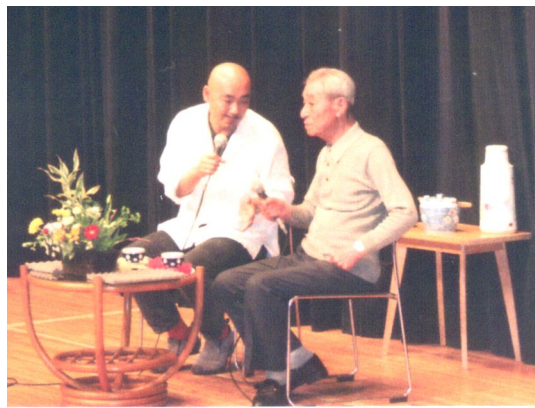
波 紋

県議選で知り合
いの一人は和田
さんに投票しま
した。「過去に
しらがみのない
人の方が期待で
きると思った」
というのがその
理由です。何日
かあとに、その
人が訪ねてきて
「和田さん自民党の支部
長になるんだって」
「なんかだまされちゃっ
たみたいだよ」と、怪訝
そうにいうのです▼これ
では自民党の支部長選挙
の手伝いをさせられたの
と同じだと、だんだん怒
りもわいてきたようです。
「新飯能」にも「県議選
市立病院入院廃止問題
も争点に」という記事が
載っていました。入院廃
止に現職の中村氏は明言
をされたのに、和田氏は
「反対」を明言したとい
うのです。ほんとかいな
と思ってしまう▼も
ともと和田氏は自民党飯
能支部の役員であり、当
選したらさつさと県議会
の自民党会派に所属して
しまうというのですから、
勘違いした有権者が戸惑
うのはあたりまえです。
医療機関の運営の困難は
自民党の医療切捨て政策
が生み出したものです。
その自民党に所属してし
まって、住民の立場にたっ
って「反対」をつらぬける
のでしょうか。

ドキュメンタリー映画「蟻の兵隊」上映

主人公が戦争の悲惨さを語る

四月十五日、飯能市民会館において、世界初のドキュメンタリー映画



で、日本軍山西省残留兵問題の真相を解明した、元日本兵奥村和一（八三歳）さんを主人公

の映画「蟻の兵隊」が上映されました。今年初め、都内でこの映画を観た人や「平和や憲法9条の大切さ、戦争の大切さ、戦争の恐ろしさ」という人が上映する会を結成し、チケット販売や宣伝を草の根的に広めました。

監督の池谷薫さんと主人公である奥村和一さんの話もあるということで、上映会が近づくにつれて市民の関心も高まり、当日券が完売するという状況で、三〇〇名を超える満席となりました。今でも砲弾の破片が体に残っているという奥村さんは、「中国人を刺殺したことが頭から離れない。戦争は人間性を奪うもの。絶対やってはいけない。」

希望者全員に貸与を

奨学金選考委員会開かれる

十九年度の奨学金選考委員会が十八日開催されました。

この制度は、大学や高校などに通う学生の生活の一助として、飯能市独自の奨学金制度で、今年度、三八七六万円が予算化されています。

新規の申し込みは、大

十九年度の奨学金選考委員会が十八日開催されました。学生（短大・専門学校含む）が二四名、高校生は十一人です。予算枠としては、大学生等三三人、高校生十二人です。定員以内ですが、四年前から所得基準が設けられ、生活保護基準の二・五倍以内となっているので、その所得を超える場合は、



定員以内であっても選考から外されてしまいます。選考委員会は終わりましたが、二六日の定例教育委員会を経て、通知をするというところで、現時点では合否の状況は公表できないとしています。

ない。戦争の悲惨さを伝えなければ私は、死にきれない」と。戦争の悲惨さを身をもって体験した生き証人の言葉が胸に迫

りました。「戦争しない。平和な社会を守ろう」という気持ちが一いつになつた映画会となりました。（投稿・中山在住 佐藤弘）

お知らせ

無言館・松代大本営跡 見学ドライブ

5月20日(日) 日帰り

集合時間は参加者が決まってから連絡
画家を志望し、戦争でなくなった学徒兵の絵画を展示した「無言館」と大本営を山中に移転し、権力延命をねらった「松代・大本営跡」を見学。
出発場所：飯能市役所 参加費：3000円程度
主催：奥武蔵文化9条の会
呼びかけ：柴崎、若林、浜野 連絡先973-7303

平成19年度 市長ほっとミーティングのお知らせ

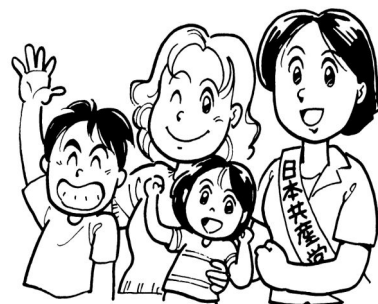
市民と行政パートナーシップによるまちづくり。市政や地域の将来などについて、市民からのご提案をいただきながら話し合うことを目的に、「市長ほっとミーティング」が開催されます。

4月	23日(月)	精明公民館
	24日(火)	原市場公民館
	26日(木)	加治公民館
	27日(金)	南高麗公民館
5月	7日(月)	名栗公民館
	8日(火)	加治東公民館
	10日(木)	中央公民館
	11日(金)	東吾野公民館
	14日(月)	美杉台公民館
	15日(火)	吾野公民館
	16日(水)	第二区公民館

●時間はいずれも午後7時～8時30分
しいものです。

身近な要求 ひどく増す

にもなっていますので朝の交通量が多い時間は交通事故が心配です。昨年、地元の自治会長さんらと滝沢おさむ市議と一緒に市に要望していた、道路がこのほど拡幅されました。（写真・上）



岩沢南部区画整理 地内の大山街道を少しでも広く

岩沢地内は区画整理が行われていますが、進捗が思わしくなく、すれ違いもできない狭い道路に悩まされています。



富士見団地東側歩道の段差解消

富士見団地東側の市道は、段差がひどく、車椅子での利用は困難で、自転車でも通行に不便をしています。



山田とし子市議が、一般質問で何度も取りあげ、改善を求めて来ましたが、このほど改善されました。（写真・下）